

令和7年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（国際人間科学部グローバル文化学科）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和7年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問1

課題文で論じられている「翻訳」が、単純に二つのものが一対一の関係で置換される以上のことを意味している点を理解したうえで、それがどのような新しい結果につながるかを本文に即して明確に説明できているかを評価のポイントとした。

問2

課題文で示されている「二項対立」がどのようなものを理解したうえで、その「二項対立」の基盤となっている近代的発想に含まれる「純化」が思考法としていかなる特色をもつものであるか、また、その結果としてどうして「二項対立」が生まれるのかについて、本文に即して明確に説明できているかを評価のポイントとした。

問3

課題文は、人間と科学技術に代表される非人間との関係を「二項対立」では捉えられないものと論じ、したがって人間と非人間のむすびつきから生まれる新たな人間の営みを、人間は完全には制御できないのだと主張している。それをふまえたうえで、人間以外の存在との関わりから人間に生じている変化を考察するための現代的な事例を適切に選択し、そこに自らがどのような問題意識をもつのかについて具体的かつ論理的に述べることができているかを評価のポイントとした。